

平成 29 年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

総 括

始めに平成 28 年 5 月 5 日発生 of JA21BB 墜死事故報告書について述べます。運輸安全委員会からの航空事故調査報告書が平成 29 年 7 月 27 日に公表されました。それを受けて県教育庁より改めて県知事への事故報告の提出を求められましたので、平成 29 年 1 月 6 日付で「JA21BB の航空事故調査報告書を受けての考察及び対策」を提出しました。その後、協会からの事故報告書は 12 月の宮城県公益認定等委員会に提出されたとのこと。また、福島県田村署に保管されていた JA21BB の残存機体は、9 月 25 日に高森さんの奥様と古川会員の立ち合いで返却され処分しました。主翼及び尾翼を含む後部胴体は未だ発見されていません。

フライト関係は 7 月後半から 8 月中は雨、期末前の 1 月末から 2 月後半は雪のため訓練ができない日が多くありましたが、4 月から 7 月中旬が順調だったためなんとか 82 日のグライダー訓練日を確保できました。

機体関係では JA2178 はエンジン・胴体オーバーホールのため JMG C へ 5 月 28 日に空輸しましたが、検討の結果胴体はドイツからの中古機を購入して対応することになりました。エンジンはすでにオーバーホール済のエンジンを確保しています。完成引き渡し期日は未定です。

日大から譲り受けたピラタス B4 (JA2297) の TCD 対応整備及び耐空検査を JMG C へ発注し現在進行中です。

フライト以外の問題点としては引き続き阿武隈川増水時の緊急避難場所確保であります。平成 27,28 年度は台風や局地的豪雨による河川の氾濫が全国各地で大きな被害が発生しました。角田滑空場では平成 27 年度は 1.3m の冠水、平成 28 年度の冠水はありませんでしたが滑走路面近くまでの増水がありました、今期は 10 月 23 日に約 2 m 冠水しました。幸い河川敷には航空機を含む一切の機材はなく、避難作業はありませんでした。近年の異常気象条件はゲリラ豪雨をもたらす傾向があるので一刻の猶予もないことを念頭に活動を進めなければなりません。まずは場所の選定、農地ナビを使用し所有者割り出し、地元住民からの情報収集を行い、有力な協力者を得て来年度の活動への道が少しは開けた活動ができました。

霞目飛行場の使用に関しては、年々使用料が高くなりなおかつ使用上の制限も多くなり使いづらさを感じてきました。そこで、先ず使用料削減のため格納庫の南側の JA50KM のトレーラ、マイクロバスを処分、日野自動車式東北大ウインチを角田事務所へ移動し、来期から借地面積の約 30% を減らしました。更に 10 月に使用料減免の要望書を東北防衛局長あてに提出しました。結果は 30 年度格納庫使用料が 1,023,042 円から 570,892 円/年、訓練用敷地は 12,259 円から 3,543 円/日となり成果をあげることができました。

事業の概要

[公益事業 1]

(1) 定款第 4 条第 1 号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

[宮城県航空協会の部]

霞目飛行場： 52 日 曳航機の離発着及び格納庫での機体整備で使用

角田滑空場： 82 日

延べ参加者人数：1,062名

機 種	飛行時間(時間+分)	飛行回数
JA30HT	104+07	719回
JA2326	174+10	552回
JA2317	67+11	131回
JA2178	12+33	19回
JA2458	67+25	38回
JA2186	21+40	49回
合 計	447+06	1508回

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動：53日 延べ587人参加			角田滑空場以外の活動：4日	
機 種	飛行時間(時間+分)	飛行回数	飛行時間(時間+分)	飛行回数
JA40AK	68+41	526回	4+48	24回
JA01VT	18+21	67回		
JA2173	58+02	469回		
合 計	145+04	1062回		24回

競技会参加結果：七大学総合体育大会平成30年2月28日～3月7日

関宿滑空場 団体戦1位(東大と同率)、個人1位(脇田)

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の1つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられるが平成29年度の滞空時間の内訳は

時 間	回数(航空協会)	回数(東北大)	合 計
1時間以上	43回	8回	51回
2時間以上	11回	3回	14回
3時間以上	4回		4回
4時間以上	3回		3回
5時間以上	1回		1回

平成29年度の距離飛行の内訳は

OLCより50km以上を抜粋(OLCは表の下段注参照)			
日 時	使用機体	飛行距離(km)	備 考
H29.04.02	J A 2 4 5 8	222.09	
H29.04.23	J A 2 3 1 7	62.85	
H29.05.07	J A 2 4 5 8	747.38	
H29.06.11	J A 2 4 5 8	396.7	
H29.11.03	J A 2 4 5 8	64.63	
H29.11.04	J A 2 4 5 8	86.10	
H29.11.06	J A 2 4 5 8	97.78	

日 時	使用機体	飛行距離 (km)	備 考
H29.11.06	J A 2 4 5 8	97.78	
H29.11.12	J A 2 4 5 8	249.32	
H29.12.03	J A 2 4 5 8	386.92	
H29.12.30	J A 2 4 5 8	263.36	
H30.01.06	J A 2 4 5 8	145.89	
H30.01.07	J A 2 4 5 8	538.11	
H30.01.13	J A 2 3 1 7	58.11	
H30.02.10	J A 2 4 5 8	195.74	
H30.03.25	J A 2 3 1 7	74.87	
H30.03.25	J A 2 3 2 6	73.97	

注：OLCとは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。

1-3. 特定技能審査の実施 滑空機 12名
陸上単発 1名

1-4. 操縦教育証明実地試験の受験 なし
自家用技能証明実地試験の受験 宮城県航空協会 なし
東北大学航空部 2名 合格

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を当初4回計画し中止が2回、実施は2回でしまいましたが、スポコム角田から追加実施を求められて3回実施した。

第1回 開催日時：平成29年7月16日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供20名 保護者4名

教室内容：子ども用グライダーGAPAを22回運航

第2回 開催日時：平成29年8月12日

開催場所：角田滑空場

教室内容：雨天中止

第3回 開催日時：平成29年9月17日

開催場所：角田滑空場

教室内容：雨天中止

第4回 開催日時：平成29年10月8日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供10名 保護者11名 スタッフ1名

教室内容：ウインチ曳航によるグライダーJA2326、JA40AKで体験搭乗10名

第5回 開催日時：平成29年11月12日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供13名 保護者13名 スタッフ1名

教室内容：飛行機曳航によるグライダーJA2326、JA40AKで体験搭乗8名、曳航機体験搭乗5名

2-2 地元住民有志の体験搭乗会

角田市佐倉 8 区の住民約 16 名を招き芋煮会を行いながら体験搭乗会を行った。

開催日時：平成 29 年 11 月 26 日

使用機体：JA2326、

体験搭乗者：9 名

2-3 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。

また、希望者には体験飛行を提供した。

開催日： 通常訓練時随時 約 82 日

訪問見学者：345 名がグライダーの説明を聞きその内 121 名が体験飛行をした。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田宇宙っ子まつり

スカイネット角田と協力し角田市が主催する「角田宇宙っ子まつり」においてグライダー展示、紙飛行機大会、イラストコンテストを実施し開催を支援した。

開催日：平成 29 年 5 月 5 日

会場：角田市台山公園

展示機体：GAPA

来場者数：約 4,000 人（主催者発表）グライダー展示会場に約 500 人

3-2 角田市「ファミリーサイクリングフェスティバル」参加者が角田滑空場へ来場見学会

開催日時：平成 29 年 6 月 3 日

参加者数：31 名に JA2326 を教材にグライダーについて説明

3-3 JAXA 角田宇宙センター祭りに参加して機体展示と地上体験搭乗を行った。

開催日時：平成 29 年 9 月 10 日

開催場所：JAXA 角田宇宙センター

展示機体：JA2458

機体展示見学者数：約 1,000 人 その内地上搭乗体験者約 100 人

3-4 角田市「はやぶさ祭り」

開催日時：平成 29 年 9 月 10 日

開催場所：角田市台山公園

展示機体：JA2317

見学者：約 5,000 人その内地上搭乗体験搭乗 50 人

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章	A 章 1 名（航空協会）	6 名（東北大）
	B 章 1 名（航空協会）	2 名（東北大）
	C 章 2 名（航空協会）	1 名（東北大）
	銅章	1 名（東北大）

4-2 F A I 国際滑空記章

該当者なし

(5) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した飛行技術研究とその成果の伝承事業

5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練：「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時行った。

5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回数	備考
2,500m～3,000m	7回	
3,000m～4,000m	4回	要酸素飛行
4,000m～5,000m	3回	要酸素飛行
5,000m以上	4回	要酸素飛行

5-3 高高度及び長距離飛行技術研究及びその伝承

平成 29 年 5 月 7 日、F.A.I 飛行記録 1000 km に齋藤岳志会員が挑戦したが 747.38 km で達成できませんでした。

(6) 定款 4 条第 5 項の事業（その他この法人の目的達成に必要な事業）

6-1 東北大学ウインドノーツ（鳥人間コンテストに出場のためのクラブ）にテスト飛行のため角田滑空場の使用許可を出した。

期間：平成 29 年 6 月 10 日～7 月 16 日の間で 6 月 10 日、17 日、7 月 8 日、
の 3 日使用

練習実績：期間中に地上走行テスト 2 回、テスト飛行を 24 回行った。

大会結果：飛行距離 2 2 6 5 7. 9 m で 3 位入賞

6-2 全国グライダークラブミーティング 2017 に参加した

全国グライダークラブの若い指導者が集まり、情報交換、指導のあり方、事故防止対策等を話し合う目的の会議

開催日：平成 29 年 10 月 14 日～15 日

会場：たきかわスカイパーク B1F 会議室

参加クラブ：（公社）滝川スカイスports 振興協会、（公社）宮城県航空協会、（公社）
日本グライダークラブ、（公財）日本学生航空連盟、NPO 法人関宿滑空場、
（公社）長野グライダー協会 （公社）日本滑空協会 中部日本航空連盟
関西エアロスports クラブ、

参加者数：9 団体、11 名

6-3 角田滑空場の年間通算約 50 日の草刈り整備事業を行った。

6-4 航空機への無線による飛行援助サービスの提供を行った。

[公益事業 2]

1. 定款第 4 条第 4 号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

1-1. 東北エアサービス(株)に悪天候及び機体不具合による予防着陸目的に 9 機の使用許可申請があり使用許可書を発行した。

期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

結果：使用実績なし

1-2. オールニッポンヘリコプター(株)に悪天候及び機体不具合による予防着陸目的に 15 機の使用許可申請があり使用許可書を発行した。

期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

結果：使用実績なし

庶務の概要

1. 社員及び会員の移動

	()内は正社員数	入会者数	会員から賛助会員	退会者数
平成 29 年 4 月 1 日時点の総会員数	81 名 (74 名)	1 名	1 名	2 名
平成 30 年 3 月 31 日時点の総会員数	80 名 (74 名)			

2. 定款第 13 条第 2 項による社員総会の開催

1. 日時：平成 29 年 6 月 10 日（土） 18 時 00 分～19 時 00 分

2. 会場：仙台ガーデンパレス 4 階会議室

3. 出席人数：53 名（うち委任状出席 29 名）

4 議事録署名人：議長 神谷文夫 代表理事 木村義彦 理事 酒井忠政、斎藤岳志

5. 議題とその結果

(1)第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書について

斎藤理事より、平成 28 年度事業報告が提案され、これを諮ったところ
全員異議なく承認された。

(2)第 2 号議案 平成 28 年度決算報告書について

木村代表理事より、平成 28 年度決算報告（平成 28 年度貸借対照表、損益
計算書、財産目録、監査報告）が報告され、これを諮ったところ全員異議
なく承認された。

6. 報告事項

(1)平成 29 年度事業計画について報告された。

(2)平成 29 年度収支予算について報告された。

3. 定款第 31 条 2 項による理事会の開催

第 1 回 理事会

1.日時：平成 29 年 5 月 6 日（土） 18 時 30 分～20 時 30 分

2.場所：角田事務所

3.出席者：理事 木村義彦、酒井忠政、神谷文夫、斎藤岳志、佐藤忠義、滝川 勉、山田昌宏
古川健二

監事 片倉 修 中川 章

4.議事録署名人：代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志 監事 片倉修、中川 章

5.議題とその結果

(1)第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について

木村代表理事より、平成 28 年度事業報告が報告され、これを諮ったところ
全員異議なく承認された。

(2)第 2 号議案 平成 28 年度決算報告について

木村代表理事より、平成 28 年度貸借対照表、損益計算書、貸借対照表及び
損益計算書の附属明細書、財産目録、監査報告が報告され、これを諮ったと
ころ全員異議なく承認された。

(3)第 3 号議案 新入会員の承認について

木村代表理事より 3 月に金山功一から入会申し込みがあったことが説明され、
この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

- (4)第3号議案 平成29年度定期総会開催について日時、場所が提案され、これを諮ったところ全員異議なく承認された。

日時：平成29年6月10日(土) 18時から

場所：仙台ガーデンパレス

第2回 理事会

1.日時：平成29年8月26日(土) 18時00分～20時20分

2.場所：角田事務所

3.出席者：理事：木村義彦、酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、古川健二

監事：中川 章

4.議事録署名人：代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志 監事 中川 章

5.議題とその結果

(1)第1号議案 J A 2 1 B Bの事故調査報告について

木村代表理事より、7月27日国土交通省運輸安全委員会から事故報告が公表され、これを受けて宮城県教育庁から宮城県航空協会としての報告書提出するようもとめられた。理事会で回答内容を検討し、年内を目途に文章で宮城県に報告することとしたい旨の説明があり諮ったところ全員異議なく承認された。

第3回 理事会

1.日時：平成29年10月7日(土) 18時00分～21時00分

2.場所：角田事務所

3.出席者：理事 木村義彦、酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、古川健二

4.議事録署名人：代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志 滝川 勉

5.議題とその結果

(1)第1号議案 宮城県の立ち入り検査について

木村代表理事より、宮城県から平成27年10月以降の事業活動について検査する旨の連絡を受けて12月中旬の検査を希望する旨の回答をした。前回同様の体制で準備することが承認された。

(2)第2号議案 霞目飛行場の格納庫敷地料改定の要望書について

木村代表理事より、霞目の格納庫敷地料が毎年上昇し高額になってきていることについて国有財産使用許可書第5条に基づく減額を要望する内容の要望書を東北防衛局長あてに提出する旨の説明がなされ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第4回 理事会

1.日時：平成29年12月16日(土) 18時30分～20時00分

2.場所：角田事務所

3.出席者：理事 木村義彦、酒井忠政、滝川勉、山田昌宏、古川健二

監事 片倉 修

4.議事録署名人：代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、滝川勉 監事 片倉修

5.議題とその結果

(1)第1号議案 平成29年度補正予算について

木村代表理事より、資料に基づき平成29年度補正予算案について説明され、

この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

- (2)第2号議案 ドイツからSF28Aの中古機を購入する件について
木村代表理事より、JMG Cの見積書を元にJA2178のオーバーホール費用が高額なこと、費用負担の少ない中古機を輸入したいとの説明が行われる、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。なお、機体はJA2178と同型機である。
- (3)第3号議案 JA2178 オーバーホール費用積立金400万円とエンジン載せ替え用積立金350万円を中古機購入に充てる件について
木村代表理事より、積立金の用途変更について説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。なお、それに関する各規程変更は次回理事会にて変更することとした。
- (4)第4号議案 新入会員 須田 智の承認について
木村代表理事より、11月に須田 智から入会申し込みがあったことがせつめいされ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第5回 理事会

- 1.日時：平成30年2月10日(土) 18時30分～20時40分
- 2.場所：角田事務所
- 3.出席者：理事 木村義彦、酒井忠政、滝川勉、山田昌宏、古川健二
- 4.議事録署名人：代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、古川健二
- 5.議題とその結果

- (1)第1号議案 平成29年度補正予算について
木村代表理事より、資料に基づき平成29年度第2次補正予算について説明が行われ、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。
- (2)第2号議案 JA30HTのエンジン2,000時間点検整備費用準備資金取扱規程の実施時期改定について
木村代表理事より、JA30HTのエンジンの残時間が現在500時間あるので、2,000時間点検整備の実施時期を平成34年(5年先)に改定したいとの提案があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。
- (3)第3号議案 JA2178のエンジン1,000時間点検整備費用準備資金取扱規程の計画実行について
木村代表理事より、新たに購入するSF28A中古機及びオーバーホール済みエンジンとの交換にこの資金を充てたいとの説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。
- (4)第4号議案 JA2178の胴体オーバーホール費用準備資金取扱規程の計画実行について
木村代表理事より、新たに購入するSF28A中古機の購入費の一部及び胴体整備費充てたいとの説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。
- (5)第5号議案 関西エアロスポートクラブのピラタスB4の譲り受けについて
滝川理事より先方の無償譲渡の意向及び宮城県航空協会がこれを受け入れた場合に生ずる事柄について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく宮城県航空協会で譲り受けことが承認された。

(6)第 6 号議案 平成 30 年度事業計画書について

木村代表理事より、資料に基づき平成 30 年度事業計画案について説明され、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(7)第 3 号議案 平成 30 年度収支予算案について

木村代表理事より、資料に基づき平成 30 年度収支予算案について説明され、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

以上

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。